

【平成26年度PS講座アンケート】

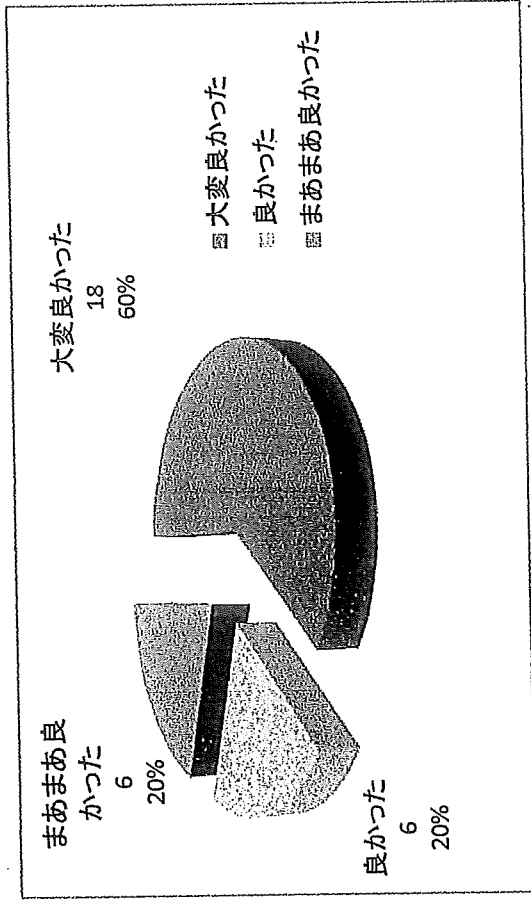
【別紙報告書3】

アンケート実施内容

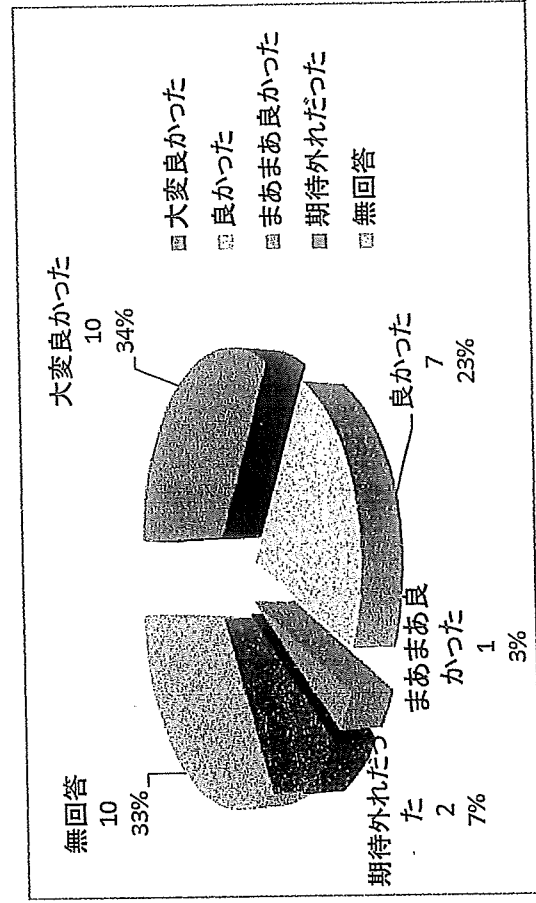
回答数30名
平成27年1月30日に実施
おでって大会議室

・当日参加者 45名中 30名より回答 回答率 66.6%

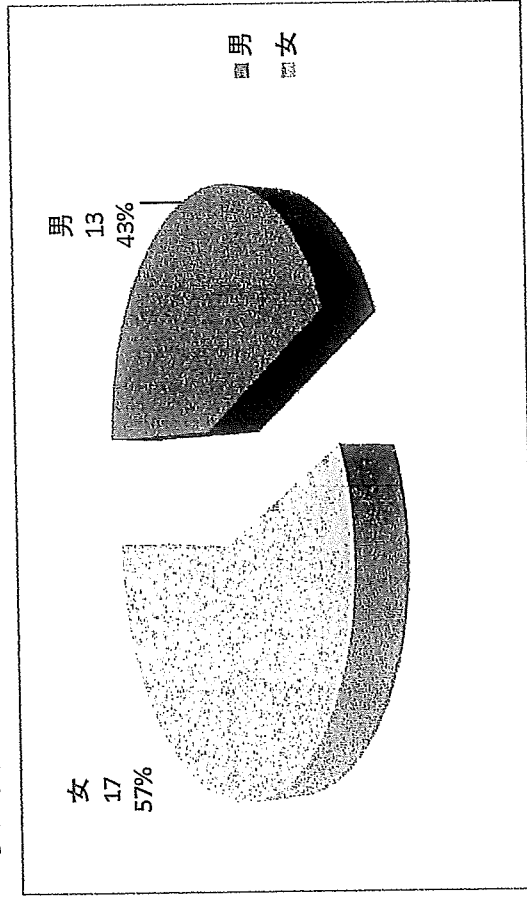
1. 第1部の講演について全体的な感想を教えてください。



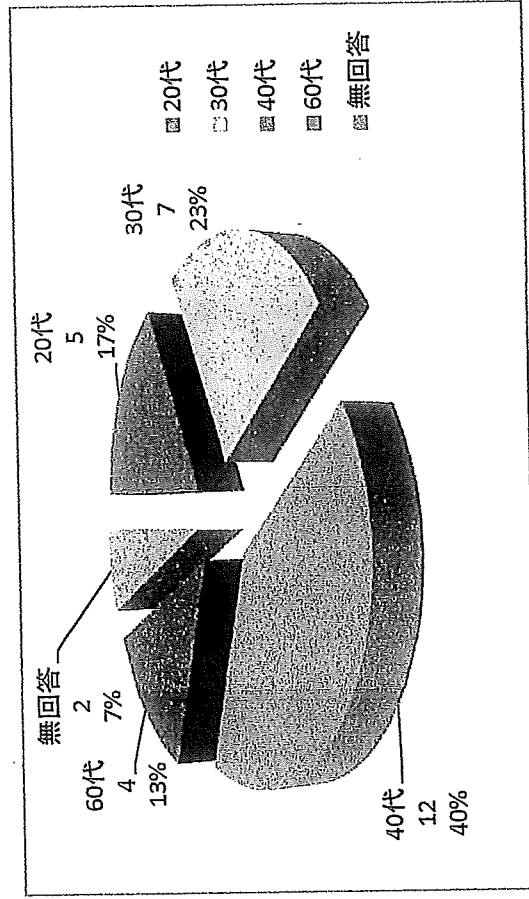
2. 第2部のグループワークについて感想を教えてください。



3. 参加者男女構成比



4. 参加者年代構成



5. 講座グループワークを通じ、実践に活かせると感じたことがあれば教えてください。

・リフレーミングを活用し、日々使って身に付けていきたいと思いました。

・相談者のライフステージや生活してきた時代背景に着目する視点が参考になった。面接技術が参考になった。

・リフレーミング

・興味をもてる話法は難しいと改めて感じました。今後の相談の中で、相手の反応を見ながら話を続けるということに注意していきたいと思います。

・リフレーミング。他の方のアイデアを聞くこと。

・サービスをつなぐのではなく、人と人をつなぐという意識が自分の中で不足していることに気づくことができた。相談者の背景を理解することの重要性も改めて感じる事ができました。人生の中で、時代背景・情勢についてまで考えた支援ができていなかったと気づいたため、今後は相談者の方を理解する上で、時代背景にも目を向けていきたいと思った。

・事例を背景で読むことは大事ですね。

・「顔と顔をつなぐ」、「チームづくり」必要を感じた。グループワークは楽しんで勉強できました。

・クローズな質問とオープンな質問の使い分け

・利用者を知ろうとすると、色々な視点が大切なのだと思います。個人の中に色々な視点をもつこと、多様な人とチームを組むことでさらに、色々な視点をもち支援することが大事なのだと感じました。

・自分のスキルの確認にもなりました。

・グループワークで行ったワークは楽しく、支援対象者向けセミナーに取り入れてやってみようと思いました。

・講演では、自立支援事業の制度に関する内容をもう少し詳しく聞きたかったです。グループワークでは、相談に活かせることが多く、勉強になりました。

・勉強になりました。

・来年度からの生活困窮者自立支援法について、もっと説明がほしかった。グループワークのリフレーミングがよかったです。

・直美さんが発信された、「困窮者支援法は実施する人、自治体のやり方・捉え方・活用の仕方では結果がわかる、おもしろい(わくわくする)仕組み」に共感しました。

・生活困窮者に対し、どのような動きが出ているのか、よくわかりました。ケアマネジメントとは、どういう仕事かわかりました。ケアマネだけでなく、人生そのものや地域のエンパワメントにも非常に有用な考え方を得ました。

・悲嘆のプロセス、顔の見えるマネジメントなど、参考になる部分が多かった。利用者宅訪問をした際は、見方を変えて臨もうと思う。

・デマンドをニーズと促ってしまっていたと感じたので、真のニーズまでの過程を意識したいと思った。

・在宅訪問での面接の仕方～(例話があるともっと良かった。)ライフサイクルと発達課題～何が欠落しているか判断。悲嘆のプロセス～ケアの仕方

・ケアマネジメントのそれぞれの段階(インテークやモニタリングなど)で何をするのか留意点や基本姿勢など、事例の時代背景でよむ。ライフサイクルを知ることで今の課題の背景がある。

・グループワークのリフレーミングがとても参考になりました。これから、活用していきたいと思います。

・私たち自助グループにもあてはまることも多々あったかと思います。

・今回はありませんでした。

・日頃、訪問活動を行っている中、佐々木さんのお話は実践に活かせる事ばかりで、とても為になり良かった。

6. これからのくらし仕事支援室に期待することがあれば教えてください。

・この様な講座があればぜひ参加したいと思っておりますので、今後も開催していただきたいと思っております。

・たくさんノウハウをお持ちだと思うので、これくさんの事例紹介の機会(どう支援したか)があれば参加したいなと思っておりました。

・引き続き、このような研修をお願いします。

・今までのノウハウの公開の場を、もうけていただくとありがたいです。

・全県展開！？

・今後もこのような学習会、研修会などを開いていただき、面接技術・支援技術を学ばせていただければと思っております。

・また企画して欲しいです。

・実際に支援を行ったケースで、どのように対応し、どのような機関と連携して支援したか教えてもらいたいです。

・仕事の定着支援など事例があれば今後のセミナーなどで伝えてほしい。

・「生活に困っている」という相談があった時、生活保護をすすめるのではなく、働くための支援をして下さい。安易な生活保護へのつながりが、盛岡市の税金をすり減らしている一因

・いつも大変お世話になっています。今の柔軟なご対応を、ぜひ継続されますよう、お願いします。私も学ぶことが多いです。

・困窮者の大半にみられる、よみかきが不得意な方々は、行政・司法機関での手続きによる解決方法を教示されても、自分で申立てなどを進めていける方がほとんどおらず、申請をうけてあげたくてもうけられないことがしばしばである。ボランティアでかかわってくれる行政書士・司法書士などとの連携を形成していければ、初期レベルの問題対応がかなり効率的に進められるのではないのでしょうか。依頼が難しいかもしれませんが…”書士会”そのものにたのめないもののでしょうか。

・盛岡市のない方でも利用しやすくしてほしい。足のない人に対する支援を。

・各事業所からの相談にも対応頂ければ心強いです。

・事例検討を通して具体的な支援方法をレクチャーしてほしい。(例:知的傷害やボーダーの人で計画的にお金を使えない人で権利ようごや成年後見制度の対象外の人など)

・日常の中で、他団体との方との交流が少ないところもありますが、今後もこのような交流(グループワーク)の場を設けていただけましたら幸いです。色々な方々と出合えて楽しいです！

・もっとはばひろくなおかつ中みのよい支援をきたいします。

・生活困窮者の良き支援者として今後もますます期待します。

7. その他、感想などご自由にお書きください。

- ・おつかれさまでした。ありがとうございました。
- ・吉田直美さんのお話しをもっと聞きたかったです。受付名簿が欲しかったです。
- ・お疲れさまでした。
- ・グループワークは、支援担当者の集まりが基本と聞いていたので、もう少し、ケース事例などのものを期待していた。
- ・参加名簿(所属先だけでも)があるとよかったです。わかりやすく、また、吉田さんの気持ちも伝わってくるお話しでした。この制度が岩手県で活きることを願っています。時代背景、ライフイベントとストレス値の表が参考になりました！ありがとうございます。
- ・盛岡は新制度の任意事業の必要性をどのように考えているか知りたいです。(やる・やらないではなく)
- ・講演・グループワークで学んだことを今後業務に生かしていきたいと思います。
- ・制度説明がわかりやすかったです。もう少し時間があればと思いました。
- ・信頼関係を大事にして支援を行いたいと思いました。
- ・今後もこれくらの存続を強く希望します。
- ・吉田直美さんのお話、とてもわかりやすく良かったです。「やればやっただけ成果が出る」その通りだと思いました。この事業に関わる人たちに大いに期待します。
- ・もう少し「生活困窮者自立支援法」について、盛岡の具体的な取り組みについて知れたかった。改めて講座を設けていただけるとありがたいです。
- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・あこがれの吉田さんのお話をきけてよかったです。私は職業上、いまは個人支援に従事できない身の上ですが、10年以上前にテレビで見てからすばらしいご姿勢のファンでした。お体に気をつけてご活躍ください。合掌
- ・人の話をきくのはムズかしいと感じた。
- ・グループワークで話す側にまわったが、話す方も言いたいことをぴったりの表現で言うのは難しいということを経験することができた。
- ・4月から変わる生活困窮者支援の骨かかが分かり良かった。→けど具体的に何をやるか決まっていないのですね。
- ・1つの事例を時間をかけて紹介するような講座をやってほしい。(どうゆう対象者でどのような機関と関わり、どのくらいの期間がかかったのか)
- ・H27.4 生活困窮者自立支援制度施行後の取り組み(実践)状況を時期をみて教えていただきたいと思います。基調講演終了時間が案内(14:45)と当日(15:25)に違いがありましたが事前→最低前日までにでもに周知していただければ助かりました。